



## 志村第一小学校コミュニティ・スクール委員会だより

〈家庭数配付〉

令和6年9月30日

板橋区立志村第一小学校

校長 高橋 宏彰

第3回コミュニティ・スクール委員会を令和6年9月21日（土）に開催しましたので、次のとおり実施状況を報告します。

### 1 玉田委員長より

今日はありがとうございます。2学期元氣よくスタートしたとのこと。事故・事件もなく過ごせてよかった。2学期もよろしくお願いします。道徳の授業と併せていじめ防止に対して忌憚のない意見ををお願いします。

#### ＜今後の地域・学校行事について＞

10月13日（日）9：00～ しみずスポーツフェア 本校で実施

10月26日（土）運動会

11月 9日（土）しいっち〜フェス

11月30日（土）音楽会



【道徳授業の様子】

### 2 協議会の様子 熟議テーマ「いじめ防止に係る取組の充実について」

コミュニティ・スクール委員の皆様より、本日の授業や学校の取組の更なる充実について、次のようなご意見をいただき、意見交換をしました。

（熟議で出された意見）

- ・報道されるいじめだとすごく深刻なものとして捉えているが、学校現場ではちょっとしたトラブルでもいじめとして認知して解決しようとしている。嫌な感情が発生した時点でいじめ。もし、子供がいやだという感情をいだいていることであれば、学校に知らせしてほしい。
- ・道徳の授業を参観して、子どもたち同士で意見を言い合える雰囲気があるのはよいと思った。
- ・家庭では朝起きた時に「何か話すことない」と子どもに聞くようにしている。子ども自身では、善悪の判断がなかなかできない。話を聞いた上で、正しくない部分はしっかり伝えていきたい。
- ・ピーポー110番など町会として、児童の様子を気にかけて積極的に協力していきたい。
- ・軽い悪ふざけから始まったことが徐々に嫌な気持ちになるということがあった。話を学校に伝えると、担任の先生がすぐに対応していただきその日のうちに解決した。すぐ対応してもらって感謝している。
- ・子どもが以前あだ名で悩んだことがあった。様子を見ていたが、ふれあいアンケートに書いたことで「学級で伝えていく」と担任の先生に対応してもらえた。アンケートはよい取組だと思った。
- ・担任・大人が見守っていると感じないと子どもたちは悩みを伝えることができない。相談に乗ってもらえるという気持ちを育てていくことが大切。子供の安全面だけでなく、心の面などについても気付いたら学校にも伝えていきたい。
- ・いかにして話をさせるかが大切。ジュニアリーダーの育成をしていく中で感じる。大人になるともっと嫌な思いをする場面がある。練習という意味でも、どう対応するかを経験していく必要もあると考える。



【協議会の様子】

コミュニティ・スクール委員の皆様には、道徳授業地区公開講座の意見交換会にもご参加いただきました。子どもたちの豊かな心の育成に向け、今後も学校、家庭及び地域が一体となった取組を進めていきます。